

# 連携協育をより深く

大分県PTA



はぐく美

大分県PTA連合会  
令和4年度  
第74回 定期総会

令和4年度大分県PTA連合会定期総会は、6月3日(金)、森山貴仁大分県教育庁社会教育課長をはじめとする来賓を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じて、県下16郡市等PTA連の代議員46名(委任状51名)と被表彰者が出席して県教育会館で開催された。

子育ての原点を意識した家庭教育の実践を中核に、教育関係団体と連携し、子どもたちの健全育成をめざし会員の総力を結集することを宣言した。

## 変化の中で

山田弘樹県PTA連会長は、今総会が通常開催できたことに謝意を述べ「新型コロナウイルス感染症はまだ収束に至らず、今年度も引き続き社会や子どもたちの生活環境に影響を及ぼすことが想定される。教育環境や学習方法等が大きく変化する今、子どもたちの成長にどのように影響していくのか注視したい。社会のめまぐるしい変化の中、人間関係の希薄化や規範意識の低下が顕在化し、スマートフォン・インターネット普及の影で児童生徒が被害者となるなど社会問題になっている。いじめや不登校・学力・学習意欲の低下など子どもたちを取り巻く問題は厳しさを増している。県PTA連はこのような課題解決に向け「子育ての基盤は家庭にある」との基本に常に立ち寄り家庭・学校・地域の連携を密にして、子どもたちの育ちを支える環境づくりに取り組んでいきたい」とあいさつした。



あいさつする山田県PTA連会長(写真上)と新役員(写真下)

また、森山貴仁県教育庁社会教育課長は「社会の変化の中で、県教育委員会が子どもの学びを止めない教育活動と新型コロナウイルス感染症対策の両立のため、教育水準の向上を図る取組を進めている。国と連動した「GIGAスクール構想」によって、教育分野でのデジタル改革は学びを大きく変えている。一人一台端末を活用した授業は児童生徒の主体的・対話的に深い学びを効果的に実現し、家庭学習へ活用・促進、不登校児童生徒の学び機会の確保にも活用されている。県PTA連の活動は家庭・学校・地域の連携のもと子どもたちの健全な成長と学びを推進する

発行所  
大分市大字下郡496-38  
大分県教育会館2F  
大分県PTA連合会  
☎(097)556-9055  
責任者  
山田 弘樹  
印刷所  
大分市下郡3154の22  
九州凸版印刷株式会社



広報紙コンクール  
② 受賞PTA  
一覧



県PTA連  
③ 幹部研修会



## 令和4年度の役員紹介

会長	山田 弘樹
副会長	御膳 雅章
参事	曾宮 康生
栗林 正一	豊 正一
山本 豊	佐伯 市
教員代表	大分 市
教師代表	津市 市
小代表	宇津 市
中代表	宇津 市
市代表	宇津 市

理事	水江 泰彦
山田 麻友	豊後高田市
工藤 慎一	別府市
徳丸 修通	杵築市
藤原 正康	国東市
甲斐みどり	白杵市
玉井 雅史	津久見市
内川 大地	由布市
工藤 雄二	竹田市
馬場 亮次	豊後大野市
重松 悟	玖珠郡
日田 市	玖珠郡
豊後大野市	玖珠郡

会計監査委員	衛藤 亀鶴	宇津 市
三浦 一郎	日田 市	
武藤 裕作	豊後大野市	
顧問	池部 英明	津市 市
相談役	正田 啓二	津市 市
事務局長	野寄 孝典	佐伯 市

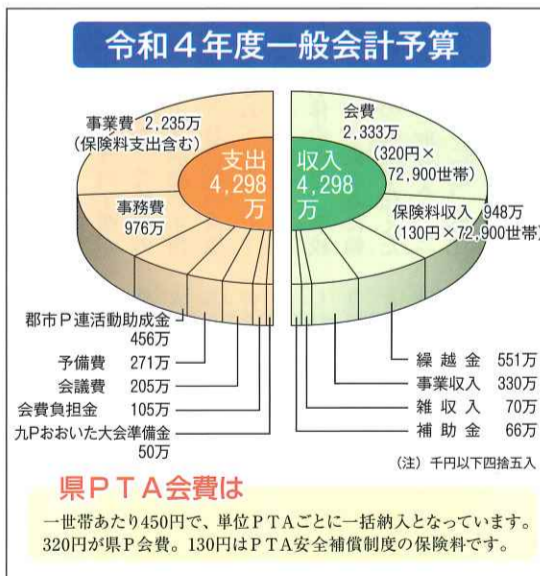


山田会長と被表彰者の皆さん

## より一層の連携を

地域学校協働活動と連動するものであり心強い」と述べた。議事に入り、令和3年度会務報告・収支決算報告があり承認された。次に令和4年度基本方針・年間スローガン・活動目標のなかで、コロナ禍において縮小・中止を余儀なくされた多くのPTA活動を検証し、時代に合った活動に進化され引き続き進んでいくこととした。また事業計画案・収支予算等を提案し、可決承認された。役員改選について選考委員長より経過が報告され、会長に山田弘樹現会長が再選承認された。また令和4年度の役員も承認され新体制が誕生した。

- 最後に新旧役員があいさつし、総会は滞りなく終了した。
- ▼第15回県PTA全単位PTA会長研修会 7月30日(土) 全国研究大会 山形大会
  - ▼第70回日本PTA 8月26日(金)~27日(土) 教育問題懇談会 11月上旬
  - ▼県PTA指定研究発表会 (令和3・4年度) 11月27日(日) 九州ブロック研究大会
  - ▼第67回日本PTA おきなわ大会
  - ▼第31回県PTA研究大会 12月17日(出)~18日(日)
  - ▼杵築市大会 2月5日(日)
  - ▼第46回広報紙コンクール 審査会 2月21日(火) 表彰式 3月14日(火)



片付けの苦  
手な私は、必  
要な物が見つ  
からないと在  
庫をしかと確  
かめることなく  
すぐに購入。ま  
た手放しても  
よいと思える物  
を「何時か必  
要になるのでは  
ないか」としま  
いでおく。その  
結果、家中は  
片付けられない  
状態になる。何  
事も決断するの  
は早い方だと自  
覚しているがこ  
ればかりは思い  
通りにはいか  
ない▼「今年こ  
そはしっかりと  
身辺整理を」と  
思った時、暮  
しの手帖の編集  
長であった松浦  
弥太郎氏の著書  
「暮らしのなか  
の工夫と発見  
ノート」今日も  
読んでいねい。  
こんな文章を見  
つけた▼増や  
したら減らす、  
ごくシンプル  
なこのやり方が  
いいねいに生  
きる秘訣です。  
新しいものを  
一つ手に入れた  
ら、部屋の隅に  
あるものを一つ  
減らす。そうす  
るといつも余白  
のある暮らしと  
なります。数の  
限られた選ば  
れたものは、一  
つ一つを宝物  
のように大切に  
扱ってほしい。  
身辺の整理を  
始めてみると、  
かすかすはあ  
るが余白が生  
じ始めたことに  
気付く。合わせ  
て生じた余白  
をどのように  
生かそうかと  
暮らしの見直  
しを始める。

# 県知事賞受賞『明丘新報』

## 大分市立明治小学校PTA

第45回大分県PTA広報紙コンクールの表彰式は、3月15日(火)に感染予防対策が十分に講じられた中、県教育会館で開催された。県内の小・中学校PTA・育友会から、75点の応募があり、26点が受賞した。

表彰式では来賓・受賞校の代表者約50名が出席する中、山田弘樹県PTA連合会長が「コロナ禍の中、本コンクールに応募された単位PTAに感謝申し上げます。PTA活動に制限がある現況下、PTA広報紙は、会員の皆さんや地域の方に活動の現状を周知する大変有効的で重要なツールである。

応募の広報紙は、地域との連携や、PTA活動を振り返りながら、今後の活動を改めて考えていく内容等、様々な工夫がなされていた。また、記事の内容から、広報活動に熱心に向き合う部員の皆さんの努力が感じられた。この素晴らしい取組を会員の方々に伝えると共に、次期広報部員に

つないでいただきたい。これからも、特色あるPTA活動の情報発信をお願いしたい」とあいさつした。

表彰の後、後藤秀徳県教育庁社会教育課課長(代理)矢野修典教育庁社会教育課主任(社会教育主事)兼課長補佐(総括)が「PTA広報紙は、会員や地域の方々に子どもや学校に対する最新の情報を提供し、地域総ぐるみで子どもを育てる意識を醸成する役割がある。児童・生徒の生活状況や保護者の思いを紙面で伝え、それらを踏まえたPTA活動を通して、家庭・学校・地域を結びつける広報紙が果たす役割は、ますます重要である。

### 審査員

- 岩尾 淳一 (委員長) 大分県PTA連合会「はくく美」顧問
- 佐々木 稔 大分合同新聞社 執行役員編集局副局長
- 小長 和宏 大分県教育庁社会教育課主任 社会教育主事
- 山田 弘樹 大分県PTA連合会会長 (敬称略)

尚、入賞紙のうち10紙が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。



一紙一紙を丁寧に審査

### お知らせ

#### ☆第45回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版

1冊700円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県P連事務局までお申し込みください。県内の各小・中・特別支援学校には郡市P連を通して1冊贈呈しました。大分県PTA連合会事務局 ☎(097)556-9055



私は子どもが小学校4年生の時にPTA会長を受けさせていただきました。そんな私が会長の職を受けた理由は、私の父もPTAの役員を長く受けていたからです。

私の家は祖父の代から続く商売をしていて対人関係の仕事になる関係上、父も人から頼まれると断ることが出来なかつたのかもしれない。そんな父の姿を見て育った私も、役を受ける事にはあまり考えませんでした。役員の仕事を学校行事はもちろんです。地域の皆さんと関わることが増え、地域の皆さんが子どもたちにこんなにも多く関わって頂き、子どもの育成にお力添えを頂いていた事も分かりました。子どもたちも白杵のお祭りに出て太鼓を叩く事を楽しんで頂きましたが、このコロナ禍の中で行事の参加が出来ずじまつてしまいました。少しずつ子どもの気持ちもその中に引き込まれることもあり、親としての焦りから気持ちが出て感情を子どもに出すことが多くなったかと思えます。でもPTAに関わり、いろんな人たちの話を聞き、子どもの気持ちを少しは感じ取れるようになったのかなと思います。

親は歳をとって体が動かなくなりますが、中3から小1まで、それぞれ4者4様、子育てを学びながら頑張りたいと思います。



## 明丘新報

発行 大分市立明治小学校PTA  
編集 山田 弘樹

## 明丘新報

発行 大分市立明治小学校PTA  
編集 山田 弘樹

「学校・保護者・地域の協力」子どもたちの命を守る道

「学校・保護者・地域の協力」子どもたちの命を守る道

「学校・保護者・地域の協力」子どもたちの命を守る道

家庭・学校・地域の想いをつなぐ「明丘新報」

### 大分県PTA広報紙コンクール



県知事賞受賞の明治小PTA副会長と山田会長

最後に、岩尾淳一審査委員長が優秀広報紙縮刷版の審査評価を交え講評。「学校の伝統を活かしたPTA広報紙には特色があり、新聞づくりの伝統的なテクニクや定石が代々、継承されてきたことが伺える。これは、実に奥深い。

### 情熱を注ぐ

- ▼ 最後に、岩尾淳一審査委員長が優秀広報紙縮刷版の審査評価を交え講評。「学校の伝統を活かしたPTA広報紙には特色があり、新聞づくりの伝統的なテクニクや定石が代々、継承されてきたことが伺える。これは、実に奥深い。
- ▼ 情熱を注ぐ
- ▼ 部員の連帯感の醸成に努め、有用感を共有する。

白杵市PTA連合会 会員 石井 哲也

令和4年度 県P連幹部研修会

深める協働の輪

県P連幹部研修会が6月16日(木)、県教育会館で開催され、県内16郡市等P連から約40名が出席した。理事会、各専門部会、合同研修会が行われ本年度の活動内容等の意思統一が図られた。

連帯感を高める



研修に参加した各郡市等P連の幹部たち

本会は、県内16郡市等の県P連理事・事務局長ら幹部が一堂に会し、年に一回開催。全体の意思統一を図るとともに、リーダーとしての意識を高め合い、連帯感を持って活動していくことを目的に研修を行う。

理事会では、日P・九Pをはじめ、定期総会などの県P連各種行事についての報告や活動計画が示された。また、この後、行われる専門部会の懸案事項について意見を交わし、共通理解を

専門部会では、今年度、各部が取り組む県P連の主要事業について確認、協議を行い、さらに充実した活動になるよう意見交換がなされた。

想いをつなぐ

- 各専門部の主な協議内容
【教育部会】
・県P連研究大会について
・教育問題懇談会について
・PTAのすゝめ「こころ」について
【研修部会】
・単位PTA会長研修について
・全単位PTA会長研修について
・指定研究事業について
・郡市P連指導者研修会について

合同研修会では、曾宮康生県P連副会長が講師となり研修を行った。「PTA会長の役割は、PTAの組織を牽引するリーダーとして

て会員の意見を尊重することが大切。会長の個人的な意見や判断ではなく、状況の変化に応じたリーダーシップを発揮してほしい。また、PTA活動の活性化には、会員相互が子どものために協働していくことを共通の認識として、活動に取り組み姿勢が重要。これは会員全体の連携を深めると共に、一体感のあるPTAの組織運営につながっていく」と述べた。今後、この合同研修会を基に、各理事が講師となり郡市等Pにおいて単P会長研修会を行うっていく。

第15回 全単位PTA会長研修会

研修会テーマ

単P会長として見えてきたPTA ~リーダーのススメ! 会長って何するの?~

本会は、県内の単位PTA会長が一堂に会し、令和4年7月30日(土)に県教育会館にて開催します。組織の牽引役としての資質の向上を図るとともに、生涯学習の視点に立った単位PTAの研修活動を推進することを目的とした研修会です。

Table with 2 columns: 内容 (Content) and 全体研修会 (Overall Training) / グループ討議 (Group Discussion). Content includes 'motto ひょうご代表 栗木 剛 氏による講演会' and '小・中学校のグループに分かれて意見交換'.

※「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」等により、変更することがあります。

第45回 大分県PTA広報紙コンクール 2021

想いをつなぐ 架け橋



講評を熱心に聞き入る受賞者

県知事賞受賞の大分市立明治小学校P赤峰真弥広報担当副会長は「紙面は、保護者が今、知りたいと思う記事作成を念頭に置き、コロナ禍の中、保護者の参観が中止された授業の様子や地域との連携活動等を伝えた。また記事は、読

読み手を思い描く

み手が親しみを感じられる様な文章表現を心がけた。見た目にもこだわり、文中に漢字を多く使用するのではなく、ひらがなをバランス良く取り入れ、読みやすさを印象づける工夫をした」と活動を笑顔で振り返った。また、県P連会長賞受賞の大分大学教育学部附属中学校P首藤亜希子広報委員長は「生徒と保護者が共に考える広報紙を目指した。近年、開始された『GIGAスクール構想』を特集の題材に生徒・保護者に対して調査を実施。調査は、特集記事の作成を見据え、広報委員相互が協力して質問事項等をゼロから作り上げた。特集記事を読んだ多くの方から、読み応えがあった」と好反応を得られた」とこれまでの活動を語った。式後は、晴れやかな笑顔で記念撮影を行う姿が見られた。

第45回 大分県PTA広報紙コンクール入賞PTA

- 県知事賞 「明丘新報」 明治小P(大分市)
県小学校長会長賞 「ほうふ」 豊府小P(大分市)
県中学校長会長賞 「かきの」 野津原中P(大分市)
大分合同新聞社賞 「種田南」 種田南中P(大分市)
OBS賞 「はるき川」 春木川小P(別府市)
TOSテレビ大分賞 「は×多起」 鶴崎中P(大分市)
大分ケーブルテレコム賞 「わさだ」 種田中P(大分市)
OAB賞 「津留小タイムズ」 津留小P(大分市)

優良賞(順不同)

- 下郡小P(大分市) 吉野中P(大分市) 大山小中育(日田市) 威宜小育(日田市) 佐伯東小育(佐伯市)
境川小P(別府市) 滝尾中P(大分市) 三隈中育(日田市) 明治北小P(大分市) 亀川小P(別府市)

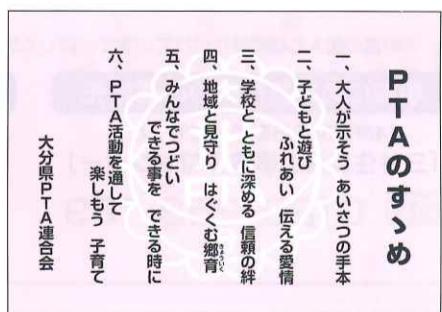
※Pは「PTA」、育は「育友会」の略

大分県PTA研究大会 杵築市大会

第31回大分県PTA研究大会杵築市大会は、令和5年2月5日(日)に開催します。

大分県PTA連合会のホームページにて杵築市大会のPR動画を紹介しています。

QRコードより検索してください。



「PTAのすゝめ」を推進

大分県PTA連合会では、「大人が・子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て」の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」を推進しています。

ちはははは 手足の先に  
なお生きて 玄関の靴  
そろへさせぬ

つくば市 潮田清

【評】幼い頃しつけられたことは、  
高齢になっても無意識にしてい  
る。亡くなっても、なお見守ら  
れている感じが伝わってくる。

潮田さんの投稿句のイメージが、  
自分の小学生の頃の日常と重なり  
合い、なつかしい。  
もう、半世紀を越すほどの昔の  
半強制的な「家の掃除」という仕  
為すことかな。



事分担がそれである。  
ミシン、アイロン、チャコ、針  
等々。「手足の先にお生きて」は、  
今でも、それぞれの道具の名、使  
用法まで生々しく、目の前に浮かぶ。  
自分は、毎日「おてつだい」の意  
識で、仕事場の掃除にかかわって  
いた記憶が残っているだけである。  
しかし、ひとつだけ、これが役  
に立った場面がある。  
学校の掃除当番の時、4年生の  
頃と記憶している。  
「お前は、掃除をしなくて帰っ  
てよい」と、担任の先生から言わ  
れてびびり！  
「毎日、一生懸命にやっけて、  
さぼることがないから」  
心に植えつけられた習慣的な事  
柄が良い方向に導いてくれたのだ  
ろう。  
「習慣的な心」が人を動かす力  
が強いとすれば、日々、「善」を  
為すことかな。

# 学 校 紹 介

令和3・4年度  
大分県PTA連合会  
指定研究発表PTA

**豊後高田市立 高田小学校**

豊後高田市の市街地をゆったりと  
流れる桂川、ホーランエンヤや裸祭  
りなどの伝統行事、校区には「昭和  
の町」があり、連日多くの観光客で  
賑わっています。

本校は、児童数359名、260  
世帯です。全世帯がPTAに加入し、  
子どもたちの健全育成に協力してい  
ただいています。

この度、指定研究校として「コロ  
ナ禍の中における安心・安全なP  
TA活動のあり方を求めて」を研究  
テーマに掲げ、学校、家庭、地域が  
一体となって「地域の宝」を育てる  
活動を行っています。一例を挙げる  
とコロナ禍で低下した児童の体力を  
向上するために徒歩通学を奨励する  
「てくてくとくとく運動」を行って  
います。毎月の交通指導日には、「て  
くとく手旗」を振りながら、児童へ  
温かい声かけをする姿が見られます。  
発表会に向けて4専門部が創意工夫  
して頑張ります。

**佐伯市立 鶴谷中学校**

本校は、九州で一番広い佐伯市の  
中心部に位置し、県南佐伯地区の中  
心校としての役割を担ってきました。  
しかし、平成元年まで1000名を  
超えていた生徒数も、少子高齢化に  
伴い、現在は500名弱にまで減少  
しています。

生徒は明るく素直であり、体育祭  
や文化祭などの行事では、生徒が主  
体となって取り組む力強い姿が見ら  
れます。学校は「ふるさと佐伯の未  
来のリーダー」を教育目標に掲げ、自  
尊感情の向上や表現力の強化に努め  
ています。

本校の育友会活動は、「改革」…  
持続可能な育友会に向けて」をテー  
マに掲げ、「できる時に、できる人が、  
できる事を」をモットーとして、「会  
員にやりがいを感じてもらい、やら  
され感・負担感を軽減する」「コロ  
ナ禍での活動のあり方を見直す」等  
の取り組みを進めています。

指定研究は、県P連の特色ある事業。指定を受けた2校のPTAは、2年間にわたり  
特色あるPTA活動に取り組み、2年次に公開発表する。  
(今年度の発表内容は、はぐく美 第345号で紹介する)

**令和3・4年度  
大分県PTA連合会指定研究事業発表会**

趣 旨： 望ましいPTAの在り方を追求し健全な子どもの育成を  
目指す単位PTAに対して、2年間にわたり大分県PTA  
連合会がその研究を援助し、今後のPTA活動の振興  
を図っている。

開催日： 令和4年11月27日(日)  
場 所： 大分県教育会館 多目的ホール  
指定研究発表PTA ① 豊後高田市立高田小学校PTA  
② 佐伯市立鶴谷中学校育友会

これまでは成果発表を単位PTAにて開催してきましたが感染  
拡大防止のため、今年度は大分県教育会館において開催します。

**三井住友海上火災保険株式会社**

見守るクルマの保険  
プレミアムドラレコ型

**大分県PTA連合会補償制度**

令和4年度の学生・子ども総合保険は、自転車条例に対応する賠償責任の補償に加え、  
新型コロナウイルスの感染リスクに備えるプランや、支給されたタブレットの損壊リ  
スクにも対応するプランをご用意しています。

**補償期間：令和4年4月1日～令和5年4月1日**

中途の加入も随時受け付けています。詳しくは取扱代理店までお問い合わせください。

**事故にあわれた時のご連絡先**  
24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」  
☎ 0120-258-189

**保険にかかるお問い合わせ**  
(取扱代理店)  
MS九州株式会社 大分支店  
☎ 097-537-3700  
受付時間：平日9:00～17:00

**東京海上日動火災保険株式会社**

大分県自転車条例 熱中症  
新型コロナウイルス  
感染症  
**ご心配な方へ!**

**お手続きはまだ間に合います!**  
スマホでかんたん  
保険申し込み～口座の登録まで手続き!

（保険にかかるお問合せ  
事故に遭われた時のご連絡先）

〈取扱代理店〉  
東京海上日動パートナーズ九州  
大分支店大分支社  
☎ 097-547-9480  
受付時間：平日9:00～17:00

詳細は大分県PTA連合会HP掲載の「東京海上日動パンフレット」をご覧ください。

**編集後記**

▼想像し行動につなげるのは  
容易ではない。「僕が出来る  
今の精一杯」と照れ笑いな  
がら想いを形にした我が子。  
その行動力を尊敬すると共に  
反省する私。子どもから教わ  
ることは無限大。(K)

▼5月の初めに先の楽しみが  
欲しいとサツマイモの苗を植  
えつけた。焼き芋が絶品の紅  
はるか。しおれぎみだった苗  
は雨の時期を経て青々と茂っ  
ている。土の中を想像しつつ、  
秋の収穫が待ち遠しい。(I)

**はぐく美編集委員 募集**

「はぐく美」  
編集作業 お仕事してみませんか？

詳細については下記事務局までお問い合わせください。  
大分県PTA連合会事務局 ☎ (097) 556-9055

1面コラム欄は引き続き  
「ときめき」です

\*筆者紹介\*

小野 京子  
○元大分市立佐伯小学校校長  
○大分大学教育学部  
附属中学校学校評議員  
○俳人協会会員  
○著書「ときめき」  
「いやしの百句」他

☆今年度の「はぐく美」編集  
スタッフを紹介します。  
梶谷寿美(編集長)  
石井昌子  
岩尾淳一(はぐく美顧問/  
チョコっとコーナー担当)